

平成29年度 事業報告

公益財団法人 大分県交通安全協会

平成 29 年度 事業 報告

1 事業の重点

平成 29 年は、第 10 次大分県交通安全計画の 2 年目にあたり、本年は同計画に沿って、交通事故のない安全で安心して暮らせる県民生活実現のため、県民一人ひとりに交通安全知識・技能を普及し、交通安全思想の高揚を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけることにより、

- 年間死者数 39 人以下
- 交通事故負傷者数 5,900 人以下

を達成するための交通安全活動を推進した。

本年は活動の重点に、社会情勢や活動の継続性を勘案し、

- ① 子供の交通事故防止
- ② 高齢者の交通事故防止
- ③ 交通安全のすそを広げる県民運動の推進

の 3 点を昨年に引き続き掲げ、交通事故のない、安全で安心して住める豊の国づくりの実現を目指すものである

2 重点活動に対する施策

(1) 子供の交通事故防止

ア 幼児に対する交通安全教育

幼稚園・保育園に交通指導員を派遣し、体験・参加型の交通安全教室を実施（幼児に対する交通安全教室は、621 回、29,265 人）

イ 児童等に対する交通安全教育

小・中・高校や地区公民館に交通指導員を派遣し、体験・参加型の交通安全教室を実施

交通安全教室は、延べ 220 回、9,605 人を対象に実施（小学生 195 回、8,470 人、中学生 8 回 327 人、高校生 17 回 808 人）

ウ 自転車シミュレーターを活用した交通安全教育

学校や地域の行事等に交通指導員を派遣し、自転車シミュレーターを活用した体験型の交通安全教室を実施

20 回、740 人を対象に実施（自転車シミュレーターは平成 22 年に各支部に配分）

エ 交通安全子ども自転車大分県大会の開催及び全国大会への出場

○ 6 月 17 日（土）、大分市大分東部公民館において「第 50 回大分県大会」を開催、豊後大野市立百枝小学校が優勝

○ 8 月 9 日（水）、東京ビックサイトにおいて開催された「第 52 回全国大会」に県大会で優勝した百枝小学校を派遣（団体 29 位）

オ 学童軟式野球大会大分支部大会及び大分県大会の後援

5 月 14 日（日）、第 37 回全日本学童軟式野球大分支部大会の閉会式（だいぎんスタジアム）において、優勝チームに会長杯・メダルを、準優勝チームにメダルをそれぞれ授与、参加チームの全員に参加賞（クリアファイル・ホイッスルライト・ポケットティッシュ）を配布し、児童・保護者に対する啓発活動を実施

6 月 3 日（土）、第 37 回全日本学童軟式野球大分県大会の閉会式（だいぎんスタジアム）において、優勝チーム・準優勝チームに会長杯を、それぞれ授与、参加チーム全員に参加賞（反射キーホルダー、フェイスタオル、絆創膏）を配布し、児童・保護者に対する啓発活動を実施

カ 幼児・児童向けの広報チラシ等の発行

幼児・児童向けの広報紙を各支部において毎月、又は随時発行

キ 交通安全啓発グッズの配布

新入学児童に対し交通安全グッズ(交通安全自由帳、交通安全クリアファイル)10,500セット、及び各支部独自で選定した物品を配布

ク 交通安全レター作戦の実施

日田支部内18小学校4~6年生1,804名、日出支部藤原幼稚園など50人、同藤原小学校全校生徒188人が、交通安全に関するハガキや年賀状を祖父母・両親など身近な人に送り、交通安全意識の高揚を図る「交通安全レター作戦」を実施。(日田支部7月中、日出支部9/22・12/22)

別府支部は、関係機関と共同して、日本郵便「かもめーる」16,128枚に「交通事故防止啓發文」を印刷し、別府市内の高齢者世帯に配布した。

(別府支部7/14)

ケ 幼稚園児による交通安全啓発活動の実施

竹田支部は、直入幼稚園園児が交通安全運動のチラシと、地元の農場から提供された「とうもろこし」をドライバーに配布して街頭啓発活動を実施(7/14)

豊後高田支部は、真玉分会「真玉交通ひよこ隊」12名と保護者が、国道213号線沿いで、のぼり旗を掲出して街頭啓発活動を実施(9/21)

コ 交通安全ポスターコンクールの後援

J A主催「交通安全ポスターコンクールの審査会」を後援し、専務理事が出席した(10/6)

サ 交通安全高校生サミットの実施

宇佐支部は、市内4校の高校生による交通安全連絡会を開催し、各校の交通安全に対する取り組み状況を意見交換した後、国道10号の法鏡寺交差点で横断幕・のぼり旗を活用して街頭啓発活動を実施した。(7/20・12/22)

シ 各種媒体による広報活動

- テレビ・ラジオ広報～4月から OBS 大分放送「イブニングニュース」（毎週水曜日）で 15 秒 CM を 1 年間、OAB 大分朝日放送「ダッシュくん」（毎週火曜日）で 15 秒 CM を 6 ヶ月間実施。FM 大分「ベジャリ亭」（月 1 回・金曜日）に職員が出演し、交通事故防止の呼びかけを実施。
- 県協会広報紙「交通安全おおいた」～春・夏・秋・冬の交通安全運動前に各 15,000 部発行し、運動の重点を広報
- 各支部でも独自に広報紙・チラシ等を作成し、保育園・幼稚園・小学校等に配布
- 横断幕・チラシ等～春・夏・秋・冬の交通安全運動中や各支部の街頭活動時に活用
- チラシ～春・夏・秋・冬の交通安全運動用に各 4 万枚作成配布～子どもの交通事故を防止するために家庭や地域・職場で実践すべき事項

※ 子どもの交通事故発生状況（29 年 1 月～12 月）

	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
平成29年	304	0	354
平成28年	289	1	346
増 減	15	－ 1	8

(2) 高齢者の交通事故防止

ア 高齢者歩行者セーフティサポート事業

各支部の女性ドライバー協議会員等が、交通事故多発地区の高齢者宅を訪問、反射材、啓発用チラシを配布し、交通事故防止サポート活動を実施。また、街頭における啓発活動も合わせて実施（9 月～11 月末まで）

イ 高齢者交通安全教室の実施

各支部において、高齢歩行者を対象とした体験・参加型の交通安全教室を 69 回、2,371 人を対象に実施

ウ シニアドライバースクールの開催

J A F と連携し、大分県自動車学校において、高齢者を対象とした体験講習会(シニアドライバースクール)を共催 (5/22)

エ 夜間の車からあなたを守る「反射材フェア 2017 (大分)」の開催

ホルトホール大分 3 階大会議室において、講師に可兒敦彦氏を迎え、「笑って楽しい交通安全教室」と反射材の照射実験等を実施した。(9/22)

オ 大分県シニアドライバーコンテスト

「第 3 回大分県シニアドライバーコンテスト」を大分県自動車学校(大分市)において開催した(11/19)

カ 高齢者交通安全キャンペーンの実施

高齢者の事故防止を図るため、11 月 1 日から 11 月 30 日までの 1 ヶ月間、高齢者を交通安全活動に参加させ、交通安全意識の高揚を図り、高齢者の事故を減少させる目的で高齢者交通安全キャンペーンを実施

キ 交通安全グラウンドゴルフ大会の開催、協賛

交通安全意識の高揚を図るため、各支部において交通安全グラウンドゴルフ大会を開催又は協賛

- グラウンドゴルフ大会～大分中央支部(7/18・12/19)、別府支部(12/12)、中津支部(9/28)、竹田支部(9/24)、豊後大野支部(7/20・7/23・12/20)

ク 各種媒体による広報活動

- 春・夏・秋・冬の交通安全運動期間中に県内各支部管内の街頭放送やケーブル TV で、「高齢者の交通事故防止」等を広報・啓発
- テレビ・ラジオ広報～4 月から OBS 大分放送「イブニングニュース」(毎週水曜日)の CM 及び、FM 大分「ベシヤリ亭」(月 1 回・金曜日)

に職員が出演し、交通事故防止の呼びかけを実施。

- 県協会広報紙「交通安全おおいた」～春・夏・秋・冬の交通安全運動前に各 15,000 部発行し、運動の重点を広報。各支部でも独自に作成配布
- 横断幕、のぼり旗、プラカード等～春・夏・秋・冬の交通安全運動中や各支部の街頭活動時に活用
- チラシ～春・夏・秋・冬の運動用に 4 万枚を作成配布～内容「高齢者の交通事故を防ぎましょう」

※ 高齢者の交通事故発生状況（29 年 1 月～12 月）

	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
平成29年	1,503	28	925
平成28年	1,715	30	1,124
増 減	－ 212	－ 2	－ 199

(3) 交通安全のすそのを広げる県民運動推進

「脇見運転の防止」、「飲酒運転の根絶」、「全ての座席のシートベルト着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底」、「交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践」等を広く県民に呼びかけるための活動を実施

ア 街頭広報

県民に対する交通安全意識の高揚を図るため、県民交通安全日や春・夏・秋・冬の交通安全運動期間中に、主要交差点等街頭において広報啓

発活動を実施

イ 広報車による広報

県民交通安全日、春・夏・秋・冬の交通安全運動中、全県交通非常事態宣言発令中、など各支部広報車による広報啓発活動を適宜実施

ウ マスメディア、ホームページを活用した広報

県協会は、新聞、テレビ、ホームページ等を活用し、適宜、時節に応じた広報を実施

各支部は、地域の実情に応じた広報を実施するため、地域新聞（別府支部）、電光表示機（大分中央・玖珠支部）、ケーブルテレビ（別府・

国東・日田支部）、商業施設店内放送（大分中央支部）をそれぞれ活用

エ のぼり旗、横断幕等の設置

各支部内の主要交差点等要所に横断幕やのぼり旗を設置

オ 交通安全DVD、ビデオの貸出

県民や企業に対し、交通安全DVD、ビデオを無償貸出

※ 飲酒による交通事故の発生状況（29年1月～12月）

	件数	死者数	負傷者数
平成29年	26	3	32
平成28年	36	1	47
増減	－ 10	2	－ 15

※ シートベルトの着用状況（29年1月～12月）

	全死者	四輪 乗車中	シートベルト着用の有無						非着用のうち 推定救命者	
			着用		非着用		不明			構成率
				構成率		構成率		構成率		
平成29年	44	16	6	37.5%	9	56.3%	1	6.3%	2	22.2%
平成28年	42	10	6	60.0%	3	30.0%	1	10.0%	0	0.0%
増減	2	6	±0		6		±0		2	

(4) その他の活動

ア 交通安全功労者、優良運転者等の表彰

交通安全活動に従事するボランティアや無事故・無違反を続ける運転者に対し、優良運転者20年・30年・40年・50年表彰や交通安全功労者表彰等を実施。また、九州管区交通安全協会会長表彰、緑十字金・銀・銅章表彰を上申し、受賞者に伝達

(ア) 交通安全県民大会における表彰 (9月1日)

	交通安全功労者	功労団体	優良運転者				優良職員等	優良学校 安管等
			20年	30年	40年	50年		
大分県表彰	17人	4団体	60人	177人	110	52人	1校	
九州管区表彰	4人	4団体	35人				1人	2事業所
全国表彰 (緑十字銅章)	10人		105人					安管2人

(イ) 交通安全国民運動中央大会 (平成30年1月18日開催) における表彰

交通栄誉章緑十字金章2人、緑十字銀章6人、優良事業所1事業所を上申し、受賞した

イ 自転車の安全利用の推進

(ア) 自転車利用者に対する安全教育

幼・小・中・高校、地区公民館等に交通指導員を派遣し、体験・参加型の自転車教室を実施

自転車教室は、延べ297回、21,703人を対象に実施 (幼稚園0回0人、小学生272回19,833人、中学生13回1,015人、高校生9回820人、高齢者3回35人)

6月17日(土)に「第50回交通安全子ども自転車大会」を開催した

※ 自転車の交通事故発生状況（29年1月～12月）

	件数	死者数	負傷者数
平成29年	462	6	454
平成28年	426	2	422
増減	36	4	32

(イ) TSマークの普及

自転車安全整備制度の周知とともに、TSマークの普及促進を図るため、5月12日(金)に大分県庁において開催された高等学校交通安全教育推進連絡会議において、参加者（高校教員等）に対してTSマークの説明を実施

ウ 二輪車の交通事故防止

(ア) 二輪車安全運転講習会の開催

二輪車普及安全協会と連携し、二輪車を安全に運転するための技能・知識を習得させるための「グッドライダーミーティング」を共催

○ 大分県運転免許センター（グッドライダーミーティング）

第37回：4月23日(日)、第38回：9月24日(日)

○ 大分県自動車学校（特別講習・グッドライダーミーティング）

5月7日(日)、6月11日(日)、10月22日(日・台風により中止)、11月12日(日)

(イ) 二輪車安全運転大分県大会の開催及び全国大会への出場

5月14日(日)、大分県運転免許センターにおいて、二輪車の安全運転走行の技術を競う「第47回二輪車安全運転大分県大会」を開催

8月5日(土)～6日(日)三重県鈴鹿市において開催された「第50回二輪車安全運転全国大会」に、県大会各クラスの優勝者4名を派遣(総合17位)

※ 二輪車の交通事故発生状況 (29年1月～12月)

	件数	死者数	負傷者数
平成29年	412	10	367
平成28年	463	7	434
増減	- 51	3	- 67

エ 交通事故相談

交通安全活動推進センターとして、関係機関と緊密な連携を図りながら、示談や損害賠償等の交通事故に伴う相談に対し適切な助言を実施

交通事故相談件数は10件(昨年0件)

以上のとおり、重点活動に対する各種施策を推進した結果、交通事故の発生件数、死者数・負傷者数いずれも前年対比で減少した

※ 県下の交通事故発生状況（29年1月～12月）

	件 数	死 者 数	負 傷 者 数
平成29年	4,131	44	5,332
平成28年	4,478	42	5,862
増 減	－ 347	2	－ 530

3 期間を定めての活動

次の期間、集中的・効果的に交通安全活動を推進

運 動 名 等	実 施 期 間	日 数
春の全国交通安全運動	4月 6日(木)から 4月15日(土)まで	10日間
おおいた夏の事故ゼロ運動	7月15日(土)から 7月24日(月)まで	10日間
秋の全国交通安全運動	9月21日(木)から 9月30日(土)まで	10日間
おおいた冬の事故ゼロ運動	12月15日(金)から12月24日(日)まで	10日間
マナーアップの日	毎月 1日	
県民交通安全日、飲酒運転根絶県民運動の日	毎月20日	
交通事故死ゼロを目指す日	9月30日	

4 行政機関から委託等を受けた事業

(1) 更新時講習、停止処分者・違反者講習

各講習の目的に沿って、講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施

(2) 更新通知・高齢者講習通知業務

適正かつ確実な業務を推進

(3) 道路使用許可調査業務

大分中央警察署管内における工事等による道路使用の許可条件の履行及び原状回復の状況等を調査し、交通の安全と円滑に寄与

(4) 自動車保管場所証明・届出等の電算入力事務

適正かつ確実な業務を実施するため、支部職員研修会において大分県警察本部担当者から電算入力事務についての説明を実施

(5) 運転免許関係事務

県民の利便性に配慮し、適正かつ確実な業務を推進

(6) 収入証紙売り捌き業務

県民の利便性に配慮し、適正かつ確実な業務を推進

(7) コース開放業務

交通事故の防止を図るため、ペーパードライバー等に対し、毎週土曜日、運転免許センターのコースを開放

(8) 運転免許証の郵送業務

県民の利便性に配慮し、適正かつ確実な業務を推進

5 大分県自動車学校における事業

(1) 優良運転者の育成

車社会に多くの運転者を送り出している指定自動車教習所の社会的責任・役割を果たすため、安全運転の知識・技能について高い教習を実施し、優良運転者を育成するとともに、初心運転者の事故率の低減を図る。

○平成 29 年度における教習生入校状況 (人)

	四 輪	二 輪	合 計
29年度	1,059	174	1,233
28年度	1,072	167	1,239
増 減	-13	7	-6

(2) 地域交通安全研修センターとしての積極的な活動

ア 高齢者講習

高齢運転者が増加する中、公益法人設立の指定自動車教習所として、講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施

○ 平成 29 年度における高齢者法定講習（普通・原付・小型特殊の合計）

（人）

	合 計
29年度	4,448
28年度	4,131
増 減	317

- ・ 運転シミュレーター、講習用ビデオ映画、新聞記事さらには身近な事故事例等、常に新しい教材により充実した講習を実施中
- ・ 実車講習による的確な是正指導と講習時の事故防止を図る

イ 取消処分者講習、初心運転者講習

公安委員会からの指定を受けた講習について、適正かつ効果的な講習を実施

○ 平成 29 年度における取消処分者講習

	一 般	飲 酒	合 計
29年度	24	21	45
28年度	26	23	49
増 減	－ 2	－ 2	－ 4

○ 平成 29 年度における初心運転者講習

	普通	自動二輪	原付	合計
29年度	25	2	3	30
28年度	39	2	3	44
増減	- 14	±0	±0	- 14

ウ 企業安全運転講習、ペーパードライバー教習等

職業ドライバーに対する企業安全運転講習からペーパードライバーまで幅広く、目的に沿った効果的な講習実施

○ 平成 29 年度における免許取得者教育講習

	1号課程	2号課程	4号課程	5号課程	7号課程	8号課程	合計
29年度	93	0	0	0	0	550	643
28年度	54	38	0	0	0	521	613
増減	39	- 38	±0	±0	±0	29	30

- ・ 1号課程～ペーパードライバー講習
- ・ 2号課程～二輪車安全運転体験講習
- ・ 4号課程～高齢者安全運転体験講習
- ・ 5号課程～高速・悪条件下等安全運転体験講習
- ・ 7号課程～二人乗り走行体験講習
- ・ 8号課程～企業・職域等安全運転講習

エ 障害者に対する教習

障害者に対する講習体制を整備し、適正かつ効果的な講習を実施

6 会議

(1) 当協会が主催する会議

ア 理事会

6月9日(金)に第20回(平成29年度第1回通常)理事会、12月7日(木)に第21回(平成29年度第1回臨時)理事会、平成30年3月12日(月)に第22回(平成29年度第2回通常)理事会をそれぞれ開催

イ 評議員会

6月26日(月)に第11回(平成29年度第1回定時)評議員会、平成30年3月12日(月)に第12回(平成29年度第1回臨時)評議員会を開催

ウ 事務局長等会議

8月25日(金)に支部事務局長等会議を開催

(2) 全国会議

ア 全日本交通安全協会評議員会

6月23日(金)に東京で開催されたが、今年は都合により欠席

イ 都道府県専務理事等会議

平成30年3月20日(火)に東京で開催され、専務理事が出席

(3) 九州会議

ア 九州交通安全協会定例総会

4月20日(木)に福岡県で開催され、専務理事が出席

イ 九州交通安全協会専務理事・事務局長会議

10月26日（木）に沖縄県で開催され、専務理事が出席

(4) 県会議等

ア 大分県交通安全推進協議会幹事会、執行部会

幹事会（5/11, 7/31, 10/25, H30. 2/7 ～専務理事出席）、自転車総合対策部会（6/16～企画指導室長代理出席）

委員会（7/7～梅雨前線豪雨のため中止）

執行部会（7/11, H30. 1/23～企画指導室長・主任出席）

イ その他

○ 大分市自転車走行空間ネットワーク整備推進協議会

平成29年度第1回作業部会（5/19～企画指導室長・主任出席）

平成29年度第1回協議会（H30. 2/27～女性ドライバー協議会研修会と重複し欠席）

7 研修

(1) 当協会が主催する研修

職員や関係者に必要な知識や技能を習得させることにより資質の向上を図るため、研修会を実施

ア 支部職員研修会

平成 30 年 2 月 24 日（土）大分県運転免許センターにおいて、平成 29 年度支部職員研修会を実施

イ 女性ドライバー協議会研修会

7 月 19 日（水）、ホルトホール大分において研修会を開催、県警交通部長が来賓として出席しあいさつ、交通企画課課長補佐が講話を実施

県警が委嘱する高齢者宅の訪問サポート活動及び街頭啓発活動を、9 月から 11 月にかけて実施し、本年度で終了した。

なお、この功労より大分県情勢ドライバー協議会各支部が、大分県警察本部交通部長から「感謝状」を授与された。

(2) 研修会への派遣

職員や関係者に必要な知識や技能を習得させることにより資質の向上を図るため、専門機関や関係機関が開催する研修会に派遣

ア 地域交通安全活動推進委員全国研修会

6 月 9 日（金）、東京において開催された「地域交通安全活動推進委員全国研修会」に企画指導室主任を派遣

イ 道路使用適正化業務担当責任者研修会

5 月 12 日（金）、東京で開催された「都道府県道路使用適正化業務担当責任者研修会」に調査員を派遣

ウ 九州地区交通安全教育プログラム勉強会

8 月 23 日（水）～24 日（木）に熊本県熊本市においてホンダ技研工業株が開催した「九州地区交通安全教育プログラム勉強会」に職員 6 名を派遣

エ 安全運転センター中央研修所における研修

業務に必要な資格取得あるいは資質向上のため、県自動車学校職員を自動車安全運転センターが主催する研修会に派遣

オ 幼児の保護者向けプログラム検証会

12月1日(金)に東京都においてホンダ技研工業㈱が開催した「幼児の保護者向けプログラム検証会」に職員2名を派遣

○ 平成29年度における中央研修所受講状況

	回数	受講人員	備考
現任運転習熟指導員課程(四輪)	2	2	4日間コース
運転適性講習指導員課程	1	2	7日間コース
現任運転習熟指導員課程(二輪)	1	1	4日間コース
新任運転習熟指導員(大自二)	1	1	3日間コース
新任運転習熟指導員(普自二)	1	1	6日間コース

オ その他

○ 平成 29 年度における県自動車学校指導員・検定員の講習受講状況

		回 数	受講人員
副管理者講習		1	3
技能検定員講習		3	28
教習指導員講習		1	1
立会研修会	自 校	0	0
	派遣検定員	0	0
	派遣指導員	0	0
合 計		5	32